

2010年度

科目名	ビジネス実務総論A		
担当教員	尾川 信之		
配当	人社2	コード	42460
開期	前期	講時	木曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	ビジネスの仕組みを理解するとともに、ビジネスで通用する文書作成力を習得する。		
目的と概要	<p>日頃消費者として様々なビジネスの恩恵を受けています。しかし、その背後には企業の生み出した様々なビジネスモデルがあります。授業では様々な業界がどのようなビジネスの仕組みを構築しているのかを考えていきます。また、ビジネスでは文書作成力は不可欠です。毎回レポートを課すことにより、ビジネスで通用する文書作成力を徹底的に磨きます。</p> <p>授業は基本事項の説明⇒ビデオ⇒ディスカッションの形式で進めます。ディスカッションで重要事項を整理し、翌週の授業日までにレポート(500字程度)としてまとめます。</p>		
成績評価法	<p>授業への貢献 30点(2点×15回)          レポート(毎回課す。500字程度) 70点(5点×14回)          *レポートはA(5点)、B(3点)、C(1点)で評価します。          単位非認定          6回以上欠席した場合、もしくは授業貢献・レポート合計点60点未満</p>		
テキスト	配付をします。		
参考書	必要に応じて紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	毎週レポートの提出がありますので、時間管理・計画性(ビジネスでは重要です)を持って臨んでください。		
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション(授業の進め方、レポートの書き方)、マクドナルドのビジネスモデルを考える。</li> <li>2. 人気ショップに隠された店舗デザインによる仕掛け</li> <li>3. 低価格商品を生み出す仕組み</li> <li>4. 小売業のビジネスモデル(1)</li> <li>5. 小売業のビジネスモデル(2)</li> <li>6. テレビショッピングのビジネスモデル</li> <li>7. 衣料品メーカーのビジネスモデル</li> <li>8. ビールメーカーのビジネスモデル</li> <li>9. 銀行のビジネスモデル(1)</li> <li>10. 銀行のビジネスモデル(2)</li> <li>11. 投資ファンドのビジネスモデル</li> <li>12. 警備会社のビジネスモデル</li> <li>13. エンタテインメントビジネスのビジネスモデル</li> <li>14. 専門学校のビジネスモデル</li> <li>15. まとめ</li> </ol>			